

いとう

衆議院議員

のぶ ひさ
信久



維新の改革、 泉州を前へ

日本維新の会

本号では、いとう信久さんの
目指す政策などをお伝えします。

プロフィール 衆議院議員 **いとう信久**

1964年生まれ。神戸大学医学部医学科卒業、大阪市立大学大学院
医学研究科修了、ウイルス学医学博士。伊東くりにつく 医療法人
信喜会理事長 / 一般社団法人泉佐野泉南医師会会員 /

貝塚ライオンズクラブ会員 / 泉佐野商工会議所会員 /
岬ラグビースポーツ少年団コーチ。

衆議院議員（現在3期目）。財務金融委員会理事、地域活性化・
こども政策・デジタル社会形成に関する特別委員会。

日本維新の会 財務金融部会長、国会議員団政務調査会副会長。

大阪19区情報

公認



阪南市長
水野 謙二



泉南市議会議員
井上 実



泉南市議会議員
古谷まさとし



泉南市議会議員
谷藤あゆな



泉南市議会議員
石橋正敏



泉南市政対策委員
竹田ゆうへい



伊東だからできる、維新だからできる。

2024年通常国会における国会活動要旨

5/7 「デジタル歳入給付庁法案」(略称)提出



日本維新の会が作成してきた「デジタル歳入給付庁法案」(略称)を財務金融部会長として青柳政調会長代理・堀場国対副委員長と共に衆議院に提出しました。

この法案は、情報通信技術を用いた情報の活用等により内国税・保険料等の徴収等に関する業務及び公的給付の支給等に関する業務を一元的に行うデジタル歳入給付庁の設置をすることにより、国民の利便性が向上することを目指した法案となっています。維新の改革を進めるためにも、是非とも成立させたいと考えています。

2/13 衆議院 本会議にて

「所得税法等の一部を改正する法律案」に対する質疑



日本維新の会を代表して、衆議院本会議にて「所得税法等の一部を改正する法律案」に関する質疑に立ちました。税制の基本に触れ、今問題となっている政治家による政治資金の税制等についても財務大臣・総務大臣・厚生労働大臣に伺いました。

現政権が各問題に対し積極的に解決を図ろうとの姿勢は見られません。今後も機会を得て、積極的に発言してまいります。

2/14 予算委員会(NHK TV入り)にて



「政治とカネ」に関連する質疑

前日の本会議に引き続き、予算委員会でも「政治とカネ」に関して総理に確認をしましたが、リーダーシップに問題があると言わざるをえません。本国会後半でようやく政治改革特別委員会が動き始めました。改革を進め、国民の政治に対する信頼を取り戻してまいります。

財務金融委員会にて

通常国会にて、計11回に及ぶ質疑・討論に立ちました

本国会の財務金融委員会においては、財務省提出の5法案、金融庁提出の2法案の計7本の閣法案が提出され、委員会審議がされました。

「所得税法等の一部を改正する法律案」については、6月から実施される所得税の定額減税の制度の中身についての確認や税制の抜本的改革を主張しました。また新法である「事業性融資の推進等に関する法律案」では、企業価値担保権の創設に期待する一方、金融機関の目利き力を育てていくことの重要性などの課題について指摘しました。

地域・こども・デジタル特別委員会にて

通常国会にて、計6回に及ぶ質疑に立ちました

本国会の地域活性化・こども政策・デジタル社会形成に関する特別委員会においては、内閣府提出の2法案、子ども家庭庁提出の2法案、デジタル庁提出の1法案の計5本の閣法案が提出され、委員会審議がされました。

子ども・子育て支援法改正案や日本版DBS法案など重要な法案が審議され、法案の問題点を指摘する一方、地域活性化を推進するためのグランドデザインをどのように描くのか、地元泉州地域をより発展させるためのインフラの整備について質疑しました(5/8)。また、ふるさと納税制度についても返礼品の地場産品基準や制度変更の可能性について質疑(3/13)しましたが明確な回答がありません。自治体が安心して運用できる制度となるよう国会の場で発言し続けてまいります。

2024年も 維新

私たちの改革は
立ち止まりません。

